

ONE BOOK ONE LIFE

2024

2月号



ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse



掲 示 板

ボランティア交流会へご参加を！バザーもします

今年度のボランティア交流会は3月14日(木)、10時～15時30分、玉水記念館で開催します。5年ぶりの1日開催のため内容は盛りだくさん。ぜひご参加ください。

主な内容 活動歴20年・30年の方への感謝状贈呈、記念講演「ボランティア活動90年の歩みとこれから」(竹下亘館長)、ボランティア友の会総会、昼食と懇談、受賞者のひと言、ビンゴゲーム、「みんなで合唱」、バザー。

参加申込は各係か総務係(電話06-6441-0015)まで。バザーの物品の提供もお願いします。

音訳ボランティア養成講習会(3)を開講

当館の音訳講習会(2)の修了者、または既に音訳活動をしている方などを対象にした音訳講習会(3)を4月開講します。

講習内容 読み方の基本、記号・漢字・図・表などの音声変換処理、調査・録音の順序、録音ソフトRecciaを使用した録音技術など。

日時 前期(講義)は4月3日～7月17日(全15回)。中間試験を経て、後期(実習)は8月28日～12月18日(全10回)の水曜日10時～12時。

受講ご希望の方は、録音製作係(電話06-6441-

1017、E-mail rec@iccb.jp)へ実施要項を請求の上、2月13日(火)までに申込みをお願いします。

視覚障害の情報の窓口「シカクの窓」開設

全視情協は1月、「シカクの窓」(<https://www.naiiv.net/>)をインターネット上に開設しました。視覚障害の方だけでなく、家族や福祉関係者、支援者等、あらゆる人を対象に視覚障害に関する有益な情報と相談先などを網羅するポータルサイトで、メニューは支援・相談窓口、便利な道具・アプリ、生活の知恵、余暇・趣味、目の病気・医療、読書・サピエ、応援・寄付。災害時等の情報提供も主目的で、能登半島地震発生後は、被災者と支援者に役立つ情報を随時掲載しています。ぜひご利用、ご紹介下さい。

2月の休館・休室について

2月8日(第2木曜)=エンジョイ!グッズサロンと図書貸出は書庫・在庫整理日で休室
2月10日(土)=製作部休室(12日月曜指定祝日の振替)
2月13日(火)=エンジョイ!グッズサロンと図書貸出は休室(12日月曜指定祝日の振替)
2月23日(金)=全館休館(祝日)

日本の児童・生徒の点字習得の現状と課題を発表 米国で開催の「Getting in Touch with Literacy」に参加して(1)

2023年11月29日～12月2日、米国フロリダ州で行われたカンファレンス「Getting in Touch with Literacy 2023」に出張し、「全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会」(以下、教点連)の事務局長として、日本の状況と課題について報告させていただきました(全視情協・サピエ事務局長の西村浩生^{ひろお}氏と兵庫県立視覚特別支援学校教諭の馬場洋子^{ようこ}氏も同行)。主に点字と触知の可能性を追究するこの大会は1995年から始まり、今回で15回目。欧米を中心に世界15ヶ国から視覚障害教育に関わる教員、コーディネイター、支援者、研究者等約300人が集い、11のセッションや展示会が行われました。その内容を2回に分けてご報告します。(点字製作係主任 奥野 真里)

今回は、12月1日のセッションVで行った私の発表をご報告します。演題は「日本における学齢期の子どもたちの点字習得の現状と課題(Current Status and Issues of Braille Acquisition for School-age Visual Impaired Children and Students in Japan)」。参加者は約30人。英文の画像資料を西村さんに操作していただき、発表しました。



点字を衰退させてしまっているのか？

冒頭では、まず以下のような問題提起を行い、発表の趣旨を説明しました。

日本では医療の進歩や福祉機器類の発展、少子化等により、幼少期に視覚障害を負う児童・生徒が大幅に減少している一方、平均寿命の伸びに伴って、中途視覚障害者の割合が急増している。そういった中で、点字を学び、使用文字として読み書きする人は確実に減少している。

その主な要因は、この20年ほどの間にITによる音声メディアの日本語処理技術の目覚ましい進歩と、パソコンやスマホの急速な普及が上げられる。確かに新たな音声メディアやツールによって、視覚障害者の生活が豊かになったことは誰もが認めるところだろう。しかし、このまま点字使用者が減少していくことを放置しておいて良いのだろうか。とりわけ、学齢期における子どもたちにとって唯一の文字である点字を衰退させてしまっているのだろうか。

この発表では、日本の視覚障害教育の現状に着目するとともに、学齢期の子どもたちの点字習得の現状を紹介し、点字の重要性と今後の課題についてふれてみたい。

日本の視覚障害教育の現状と教点連の活動

続いて本論に入り、まず視覚障害教育において世界にも誇れる日本の盲学校教育の歴史と、後に取り組みされてきたインクルーシブ教育の現状を紹介しました。特に、盲学校教育では視覚障害に特化した専門スキルや指導を積み重ねてきたこと、一方、地域の学校で目の見える児童・生徒とともに学ぶインクルーシブ教育の現場では、一人一人に点字習得の環境が十分行き届いているとは言えないということを説明しました。

そして、インクルーシブ教育を受ける子どもたちへの点字の教材を整えるために、2005年に発足した「教点連」の活動を紹介しました。

教点連の大きな役割は、数多くの教科書を全国のどのボランティアグループに製作してもらうか調整し、限りある人的資源の中で重複製作が生じないようにすること。また、専門点訳のスキルや、教育現場の最新の状況などを広く周知するために、セミナーの開催などを行っています。

日本の点字教科書における触図の活用

日本の教科書には、児童・生徒の学習意欲を引き出すために、ビジュアル化された表現が多く掲載されている。そのような内容を点訳する

ことに点訳者はたいへん苦勞している。日本では触図を簡単に描けるフリーアプリが公開されており、教科書点訳ではこのアプリが活用されている。触図を作成する際、墨字データをそのまま点図に置き換えるだけでは児童・生徒が触って理解することはできない。図そのものの大きさを拡大・縮小したり、線の違いを触覚で判別できるよう調整する必要がある。これらは一つずつ点訳者が考えながら判断しており、専門的スキルが求められる。

触図については、日本のエーデルという点図作成ソフトで作成し、点字プリンターで打ち出したミニオンズやピカチュウ、アメリカの地図を会場で配布したところ、たいへん好評でした。

筑波大学附属視覚特別支援学校の取り組み

日本の盲学校教育における点字習得の現状については、筑波大学附属視覚特別支援学校における小学部から高等部普通科までの点字習得の事例や取り組みを取材し、紹介しました。

中でも、目の病気が進行することを受け止め、弱視の段階から点字習得に励む生徒の紹介や、将来的に使用すると便利な機器・点字ディスプレイを導入した学習報告は、特筆すべき点だと感じています。しかし、高校を卒業する際は端末を返却し、自費で購入しなくてはなりません。その高額な機器の購入補助が得られるかどうかは自治体によってばらつきがあるため、手軽に入手できないのが大きな課題です。

児童・生徒の点字習得の課題と改善策

最後に、今後の日本における点字習得の課題と改善策を3点にまとめました。

①日本ではこれまでボランティアの力を借りて視覚障害者の読書環境と学習環境が支えられてきた。しかし、このままの状況を維持していくことは難しくなっている。特に、児童・生徒の教育に関わる部分については改善を図ることが急務である。AI技術を駆使して教材資料の点訳に活用できないかという議論もされているが、日本語特有の言語性質により誤変換や誤読が生じてしまい、AIの力だけに頼ることは難しい。また図や写真など視覚的資料をどの

ように表現するかの判断は点訳者が行わなくてはならず、容易なことではない。今後は専門点訳者を配置していく必要があると考える。

②残念ながら、点字使用の子どもが減少している状況に歯止めはかからない。盲学校においても該当者がいないケースもある。各学校だけで解決しようとするのではなく、地域あるいは全国的な課題として取り組み、指導員や教員が参加する研修会を継続的に開いて、地域の学校や盲学校で点字使用の児童・生徒を受け入れられるようにモチベーションを維持していくことが求められる。

③日々使用する点字を、より身近なものにしてもらうために、子どもたちのモチベーションを維持することが重要である。近年オンラインも広く普及していることから、そうしたツールを活かして、盲学校とインクルーシブ教育の別を超え、学校同士で交流し、同世代の子どもたちと情報や意見を共有することにより、点字への意欲や関心が維持されるのではないだろうか。

以上が発表の要旨です。与えられた1時間はあっという間に過ぎてしまい、参加者とディスカッションをする時間がなくなってしまったのが心残りですが、セッション終了後、点図や点字ディスプレイに関する質問をいただきました。今や、教育に用いられる資料の大部分を点図が占めているのは日本だけではないようです。また点字ディスプレイの開発も海外では活発に行われており、その様子は次号でご報告します。



海外でのプレゼンテーションを無事に終えることができたのは、発表内容へのアドバイスをはじめ、資料の準備、サポートをしてくださった皆様のお陰です。この場を借りて、感謝申し上げます。
《写真は会場のクリスマスツリーの前で。左から西村氏、馬場氏、奥野》

情報文化センターと共に歩んだ半生を振り返って 活動歴40年を超えるボランティアの方々のご紹介(7)

ボランティア活動歴40年を超えて、今も活躍しておられる方々にこれまでの歩みを振り返り、長年のご経験やご苦勞、今思っておられることを聴かせていただくりレー企画も最終回を迎えました。7回目の今回は録音の伊志峰和代さんと前田綾子さんをご紹介します。この企画でご紹介したベテランの皆さんから、講習会を修了してこれから活動を始める皆さんまで、ぜひこれからもお元気で活動を続けられ、すべての人が“読書”の喜びを分かち合えるようにお力添えください。(副館長 久保田 文)

私の「ONE PLACE, ONE LIFE」

伊志峰 和代(録音ボランティア)

いま、竹下館長からいただいた1982年2月発行の『ONE BOOK ONE LIFE』に目を通していきます。あれから40年経った現在の『ONE BOOK ONE LIFE』を見ますと、館の働きが多岐にわたり、その充実ぶりが伝わってきます。

親友・服部友子さんともこから、講習を受けてみない？と誘われ、「関西アクセントなので朗読はムリじゃないの?」「対面なら大丈夫よ」と、ライトハウスへの道を拓いていただいたのです。「ひと言で進路が決まる」とはこのことなんですね。

緊張して館へ足を踏み入れ、最初の対面朗読のお相手は笑福亭伯鶴さんはっかく。伯鶴さんとの真剣対面の始まりでした。楽しかった、面白かった。

館の講習会も終わり、河合和美先生かずみにちなんで『かわいいかい?』発足。17名の方々、いまだうなさっているかな。

1982年、地元の上甲子園公民館で橋本勝利先生かつとし、前田綾子先生の朗読勉強会があり、その時

が前田さんとのご縁の始まり。現在のペア録音へと繋がっていきました。

数々のご縁に囲まれた木曜日。親しくも愉快なお仲間は、私の“お宝”です。

敬愛する前田さんのご指導を得て続けて来られた40年。ここは大切なものをたくさんいただいた私の「ONE PLACE」。

すべてのことに心を込めてひと言、「ありがとうございます」。



「私たちニコイチなの」が口癖の前田さん(左)と伊志峰さん(右)

長年の相棒を頼りに“幸せ”を頂いています。

前田 綾子(録音ボランティア)

私はなてんがその頃昭和町にあったライトハウスに初めて伺ったのは、20代半ばのこと。橋本勝利さんから「ライトハウスで『声の図書館』を始めるので手伝って」とのお誘いを受けたためです。まだ録音スタジオは無く、テーブルに置いたオープンリールテープレコーダーで童話を録音しました。やがて放出の鶴見事業所にスタジオができ、書棚にあった児童向けの日本史シリーズ、講談本、童話など、片っ端から録音。当時はまだ校正もなく、大きくとちった時は読み返して、その箇所を後で橋本さんがテープを切り貼りして編集してくださいました。当時、雨の降った翌日は道路はひどいぬかるみで、上天気でも長靴を持って出向いたことを覚えています。

私自身多忙だった時期は、毎月『声のジャーナル』の紀行文だけを読み、子育て中は課題図書を家庭録音で収録しました。こうして、止めないで、無理をしないで、細々とでも続けてきたことが今に繋がっているのだと思います。

現在の私は、ペア録音始まって以来の相棒、伊志峰和代さんに頼って、毎週幸せを頂いています。よくとちりますが、伊志峰さんが「出来上がりが良ければいいんじゃないの?」とおっしゃってくださいるので、遠慮なくのびのびと読むことができます。私は、モニター(第1校正者)は最初のリスナーだと思っていますから、いろいろ相談しながら楽しく共同製作をしています。

伊志峰さん、お仲間の皆さま、ありがとうございます。音訳をさせてくださる情文の皆さま、そして天国の橋本さん、ありがとうございます。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2023年12月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点字製作 ♣

12月分完成点字図書

8タイトル21冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

- 禁断の進化史(更科功) 3冊
点:永藪直子
校:G校正 宗像真李子
- 黒猫ノロと世界を旅した20年
(平松謙三) 2冊
点:栗谷博子
校:辻 志津江 橋詰玲子
- 10代から知っておきたい女性を
閉じこめる「ずるい言葉」
(森山至貴) 2冊
点:山崎好恵
校:清水浩子 宗像真李子
- 集団に流されず個人として
生きるには
(森達也) 3冊
点:西尾純子
校:宗像真李子 平野 健
- 消化器内科医が教える体と心を
“強く”する鉄活BOOK
(工藤あき監修) 2冊
点:木内孝子
校:辻 志津江 平野 健
- 呪いの日本史(渋谷申博) 3冊
点:黒堀比佐子
校:G校正 丸山順介
- 文豪たちが書いた喧嘩の
名作短編集
(彩図社文芸部編) 3冊
点:高木智佳子
校:G校正 平野 健
- ロータリークラブに入ろう!
(田中久夫) 3冊
点:田端弘美
校:辻野純代 橋詰玲子

♠ 録音製作 ♠

12月分完成録音図書

15タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

- あいまい・ぼんやり語辞典
(森山卓郎) 9:02
音:二宮真理
校:山中真理子 吉田典子
編:吉川順子
- あなたのまわりの「高齢さん」の本
(佐藤真一) 8:03
音:小林幸子
校:福池恵理子 中澤康子
西田芳美
編:荒木良子
- 安心ミライへの「資産形成」
ガイドブックQ&A
(三井住友トラスト・資産の
ミライ研究所編) 11:25
音:濱 欣子
校:川端砂代子 下山とよみ
編:本村英子
- 異世界食堂5(犬塚惇平) 8:40
音:辻野玲子
校:有末 道 阪越紀子
編:山崎千代子
- 犬と一緒に生き残る防災BOOK
(犬防災編集部編) 4:56
音:柳本絹子
校:矢切素子 渡瀬尚子
山下富代
編:吉川順子
- HSPをささえる漢方セルフケア
(がじゅまる) 6:08
音:野崎淳子
校:金井典子 川端砂代子
編:前川祐子

- お天気ハンター、異常気象を追う
(森さやか) 8:41
音:岡 香代子
校:谷澤耀子 片畑令子
西田芳美
編:山崎千代子
- コーヒーで読み解くSDGs
(Jose・川島良彰 他) 9:55
音:前田元子
校:鈴木ますみ 西田芳美
編:植田美穂子
- 大衆演劇へようこそ
(おーちようこ) 6:04
音:富田久美子
校:西田芳美 土井賀津子
編:川端正子
- 食べるお茶のススメ
(梁川正) 4:52
音:有川美津子
校:矢切素子 松井喜美代
編:畑 豊弥
- 重源さんが教えてくれたもの
(吹角隆光) 3:55
音:山田喜志子
校:白石里佳 久保洋子
阪越紀子
編:辻野玲子
- 不老不死ビジネス
(C・ウォルター) 13:51
音:岡 香代子
校:谷澤耀子 上田道子
西田芳美
編:石井ふみ代
- 三好一族(天野忠幸) 9:41
音:山中真理子
校:外園朝代 有末 道
松井喜美代
編:植田美穂子
- 名随筆で学ぶ英語表現
(寺田寅彦 他) 6:03
音:小林幸子
校:西田芳美 脇本登志子
編:山崎千代子

六莫迦記[2](新美健) 5:24
音:寺下千秋
校:遠藤敬子 和田ゆう子
下山とよみ
編:辻野玲子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

Amazon fire tv stick
取扱説明書 1冊
校:松井育子
歌詞(14曲) 1冊
点:福井真由美
校:G校正
「金平糖」第177回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦
校:若林安也子

録音図書

共に育つ 第19号
(櫛谷宗則) 4:56
音:外園朝代
校:山中真理子

◆ 定期刊行物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2024年1月号
発送:木下正義 中島小夜子
中島千恵 西垣泰子 山田一弘

『読書』2024年1月号
デジ版 1:13
音:寺下千秋 校:下山とよみ
発送:井川倭文子 板波キミ
並木昌子 宮崎ナオヨ 宮野興子

『JRニュース』2024年1月号
点字版 3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録~美味しそうな
食べ物満載の時代小説』
2024年1月号
デジ版 0:12
音:寺下千秋 校:下山とよみ

『子供の科学』2023年11月号
デジ版 3:06
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
畠田禮子 田中英子 土井明美
宮 清子 吉田 薫

『サイエンスかわら版』2023年11月号
デジ版 3:55
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
大桑久美子 河原真知子 北川温子
畑 豊弥 福島博子 溝渕久美子
目連雅子

『日経パソコン』
2023年12月号 デジ版 4:06
音・校・編:情報文化センター
石井那智子 岡村佳子 桂 公子
金井典子 北川温子 木村純子
上月直子 小林幸子 小林万智子
小森佳津子 佐藤圭子 佐山敦子
下山とよみ 寺下千秋 寺田美枝子
西村郁子 二宮真理 橋本万里
平田恵美子 福島博子 前田元子
水谷和子 溝渕久美子 目連雅子

『英語よもやま通信』2024年1月号
デジ版 2:31
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子 小林幸子 中島美穂
中島 睦 西田芳美 西和田恵子
弘津千加子 眞津野秀子 山本 香

『鍼灸柔整新聞』デジ版
2023年11月25日号 1:22
2023年12月10日号 1:27
音・校・編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
植田美穂子 大坂陽子 片岡珠子
金井典子 川端砂代子 小林万智子
関岡直江 瀧名あきよ 前川祐子
前田元子 渡辺一枝

『週刊新潮』デジ版
◆2023年12月7日号 9:34
今岡松代 榎原真理 岡村勝彦
奥田和美 上田啓子 加藤洋子

河原真知子 衣田智恵美 木村加代
黒河典子 後藤泰子 正田潤子
中村千賀子 中村直美 中本和代
西田文子 野村美穂子 兵頭つね子
深津綾子 福田佳代 藤原雅子
森嶋美穂
編:中本和代

◆2023年12月14日号 9:45
畔田文恵 稲田至功子 井上真子
上原多美子 大橋恵子 岡崎節子
加藤和夫 上村裕子 北元直子
坂本雪枝 阪本由美子 佐古智子
佐藤公平 澤井 稔 地福延代
白井律子 鈴木恵子 高橋孝子
寺下千秋 永井憲子 瀧 洋一
林 由子 平田恵美子 廣田あけみ
光成明子 向高寿子 山下幸子
山本スズ子 山本晴代 湯浅里美
吉田典子 和田ゆう子 和布浦眞里子
編:西村道子

◆2023年12月21日号 10:04
岩谷友子 太田貴子 越智真弓子
婦村千恵 清水百世 新熊美衛子
高久俊子 田渕浩子 寺西竹子
成田次雄 成田由起 西村道子
西本美加子 西山トシ子 西山宏実
直場徳宥 橋本明子 服部秀美
前田元子 松原和子 松本昌子
山下 豊 山田栄利子 和田文子
編:佐古智子

◆2023年12月28日号 9:56
有川美津子 石原晶子 上原多美子
大久保美弥 大坂陽子 大島幸枝
大塚しづ子 岡崎節子 岡田栄子
上村裕子 神谷勉子 川添美智子
川端砂代子 川本くるみ 北元直子
久下悦子 久保諄洸 小池雅子
阪本美紀 澤井 稔 嶋津美香
清水純子 鈴木栄二 高橋孝子
高山広美 武市敦子 竹内清子
立川有紀子 田宮加代 地上博子
坪田捷子 富田久美子 橋村恵子
林 由子 兵頭賢一 弘津千加子
松浦洋子 八十嶋敦子 和布浦眞里子
編:尾島和代

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

★ 電子書籍 ★

◆テキストDAISY図書
MONTHLY “日本一”明るい
経済新聞12月号
テキスト化・DAISY編集:
越智真弓子
産経新聞 産経抄
2023年12月1日～12月15日
2023年12月16日～12月31日
テキスト化:池尻三千子
千徳節子 西村佐世子

◆マルチメディアDAISY図書
インガメの里
テキスト化:戸田和子 千徳節子
DAISY校正:加藤珠子
音:北川温子
ちび三郎と魔女
スキャン:岩井和美
テキスト化:岩井和美 片山広美
足立佐紀子
画像:吉田政雄
DAISY編集:足立佐紀子
音:前田綾子 伊志峰和代
吉田典子

♥ 対面リーディング ♥

青木幹雄 上ノ山禎子 江口不二子
大西順子 岡崎節子 片山紀子
桂 公子 小池雅子 坂本雪枝
中本由美 野口令子 弘津千加子
米田るみ子 和布浦眞里子
12月 利用者8人・20件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子 木村謹治 澤井 稔
細井昌子

🍷 館内お手伝い 🍷

図書・情報サービス

板波キミ 上田敬子 片岡忠克
木村謹治 婦村千恵 小寺高子
田間泰子 塚本紀子 逸見恵子
待田敏彦 宮嶋昌代 森本益子
京村禎子 渡邊洋子
[茨木市バラの会]
高見澤央子 吉田 充
岡 玄子

整理・情報サービス

板波キミ 鱗星千恵子
逸見恵子

電子書籍

池尻三千子 西村佐世子

◆12月の貸出実績

点字 132tl DAISY 3083tl

テープ 3tl

★12月の人気貸出図書★ (当館製作図書。順不同。)

【点字図書】

中世イングランドの日常生活
(トニ・マウント)

廻船問屋の中ほんさん(上念素子)
おそまつなギリシャ神話事件簿

(河島思朗)

色えんぴつのワルツ(黒田真由)

【録音図書】

言葉のピミョーなちがいクイズ
ぶらり大阪味な店めぐり

(井上理津子)

論考日本中世史(細川重男)

自分でできる!熟睡脳のコツ

(酒谷薫)

入力作業
江島理枝

館内作業
井上恵子

🎧 音声解説 🎧 (ボイスぶらす)

◆上映協力

わろう座映画体験会

「オリエント急行殺人事件」

(12月22日)

勝亦悦子 北川富美代 鹿津直美
田中千壽子 中村京子 那須由美子
西川真知子 廣野美代子 松永和子

☒ パソコンサポート ☒ (ボイスネット)

【12月実績】

週報:阿佐和幸

HP更新:中条正信

《一ツ橋総合財団助成事業》

アクセシブルな電子書籍、
シネマ・デイジー等、当館の
先進的なメディアは公益財団
法人一ツ橋総合財団のご助成
により製作されています。

* ご 寄 附 *

鉄道弘済会 西日本支部

日本基督教団北白川教会

相場 妙 上田道子 川崎和代

玉置明美 舟橋雄一 宮 清子

山際かめよ 湯川欣晃9件 匿名5件

(敬称略をご容赦下さい)

肥後橋駅に「可動式ホーム柵」が設置

録音ボランティアの野村^{あきこ}昭子さんが肥後橋駅のホームから転落し、亡くなられてちょうど4年が経ちました。この間、設置が待たれていた肥後橋駅の「可動式ホーム柵」が昨年末設置されました。大阪メトロでは2025年3月までに、四つ橋線の残り9駅と中央線の全14駅に設置が予定されています。各駅にホームドアの設置が広がり、視覚障害者の方に限らず、鉄道駅での転落事故がなくなることを願います。

当館会議室の貸室料を4月から値上げ

当館の4階には大小4つの会議室があり、当館のボランティア活動や後援団体以外の方には有料でお貸ししています。貸室料は2009年の開館時から変えずにきましたが、ビルの維持管理費を賄うため、今年4月から値上げさせていただくことにしました。新しい貸室料については利用申込時にご確認ください。

「サピエ」が3月4日から27日まで全面停止

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」がシステムの全面更新のため、3月4日(月)から27日(水)までの約4週間、全面的に停止します。サピエ図書館の直接利用だけでなく、当館をはじめ全国の加盟館でも図書検索やデータのダウンロードやオンラインリクエストなどが一切行えなくなります。図書や雑誌の貸出サービスについては出来る限りの代替手段を取りますが、ボランティア・団体の方もご注意ください。

踏切に“特別な点字ブロック”の設置が義務化

一昨年4月、奈良県内の踏切で、視覚障害者が列車と接触して死亡した事故をきっかけに、踏切内に“点字ブロック”の役割を果たす表示の敷設が検討されてきました。その結果に基づき、1月、国土交通省は「踏切内での安全対策に関するガイドライン」を改定。「踏切道内誘導表示」の設置を義務化し、その構造も規定しました。規定では「(踏切内の)歩道の中央に幅320mmの白い着色。そこに高さ5mmの丸い突起を横12列で敷き詰める。その両側に75mmの黄色い着色。中央に高さ5mm・幅27mmの直線状突起を進行方向へ敷く」とされています。さらに、「踏切内にカラー舗装と車道外側線」と「遮断棒の手前にゴムチップ舗装」も推奨されました。「誘導表示」の普及により、痛ましい事故の発生が防がれることを期待します。

人事異動のお知らせ

*退職(1月31日付) サービス部機器・用具係
=加治川^{かじかわちかこ}千賀子 加治川さんは2006年から総務係で広報や友の会の担当などをされた後、2016年度からエンジョイ!グッズサロンに異動して利用者サービスを支えてくださいました。

ボランティア友の会世話人会報告

1月11日(木)10:00~12:00

出席者:池本、大安、尾崎、梶原、小寺、阪本
嶋林、山田、館から久保田、谷口

<協議事項>

- ・ボランティア友の会総会・交流会の検討
- ・次年度世話人会について
- ・次年度予算について
- ・会則の見直しについて
- ・友の会文庫への寄付の中止

<次回>3月12日(火)10:00~

あゆみ

【1月】

- 5日 仕事始め、法人新年互礼会
- 6日 サービス再開
- 9日 ボランティア活動再開
- 11日 ボランティア世話人会
- 13日 オープンデー(館内見学日、4人)

予定

【2月】

- 8日 サービス部休室(在庫・書庫整理日)
見学:大阪医専
- 10日 見学:T眼科病院医療従事者
製作部休室(12日月曜指定祝日振替)
- 13日 サービス部休室(12日月曜指定祝日振替)
- 17日 オープンデー(館内見学日、要予約)
- 23日 全館休館(祝日)

編集 知人に「お変わりないですか?」と声をかけました。隣で食事をしていた少年がボソッと一言。「お代わりないの!?(点

ワンブックワンライフ
ONE BOOK ONE LIFE 2024年2月号
発行 社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)
住所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp
表紙絵 かたおか朋子
発行日 2024年2月1日
定価 1部100円 年間購読料1,000円

公式SNS
はじめました

